



R7 学校教育目標 「思いやり・やる気・つながる」

向町小だより

最上町立向町小学校
令和7年度学校だより No. 4
令和7年9月1日 校長室

夏休みの思い出を糧に 2学期が始まりました

8月20日、まだ暑さが残る中でしたが、子どもたちは元気に登校しました。

25日間の夏休み中は、家庭や地域の方々に見守っていただいたおかげで、子どもたちの大きな事故やけがもなく、安全で楽しい毎日を過ごすことができました。ありがとうございました。

1学期に実施したいじめアンケート調査では、全体的に「からかい、ひやかし、悪口」という内容が多く、個々のケースについて子どもたちの話をじっくり聞き、双方が納得した時点で保護者の方々に内容をお伝えしました。その後も子どもたちの声や様子に気を配り、いじめゼロを目指して子どもたちと一緒に努力を続けていますが、残念ながら言葉遣いや自分の気持ちの伝え方の未熟さに起因するいじめが発生している状況でした。



2学期は今まで以上にいじめがなく「みんなが学校で楽しく暮らすこと」に力を入れます。

始業式で、私は以下のように話しました。



～全国学力・学習状況調査の結果をうけて～

4月に6年生対象に行われた調査で、本校は国語・算数・理科とも県平均を下回る結果となりました。知識・技能の力についてはついてきていますが、思考力・判断力・表現力の向上が課題です。

【各教科の具体的な内容】

国語…「調べたことを基に詳しく書く」はよくできていましたが、「情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使う」に課題が見られました。
算数…「棒グラフの読み取り」はよくできていましたが、「図形」全般に課題が見られました。
理科…「地球を柱とする領域」は比較的にできていましたが、「生命を柱とする領域」に課題が見られました。

【学習状況調査から見られる傾向】

全国や県と比較してよかった点

- 人が困っていると、進んで助けている子が多い。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている子が多い。

全国や県と比較して課題になっている点

- 分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫している子が少ない。
- 学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりする子が少ない。

【2学期に力を入れていきたいこと】 6年生だけではなく、全校生が対象です。

- すでに学んだことを応用して考える。
- 文章や表などから読み取ったことを図や言葉を使って可視化する。
- 自分が考えたことや、その流れを記録して残す。

【ご家庭と協力して進めたいこと】

- 今後も継続して、お互いに子どもの様子で気づいたことを共有して子どもに寄り添う。
- 子どもが自分の成長を感じられる家庭学習の意欲づけ・習慣づけをする。

地震を想定した避難訓練

8月27日、防災の日を前に、避難訓練をしました。ひとりひとり前回よりさらに緊張感を持って参加しました。防火扉が閉まり、非常扉を自分たちで開いて避難しました。扉の重さや足元の悪さなどを経験しておくことが緊急時への備えとなります。教室で訓練を振り返りながら、「もし、地震で火災が起こったら?」「下校途中で地震が起こったら?」など様々な想定をしてとるべき行動を考えました。



4年生が バスで山形市へ校外学習に



8月30日、4年生が山形市へ出かけました。まず、県庁と県警察本部を見学し、昼食は県庁の食堂で食べました。日頃入ることができない場所に入ったり、なかなか見ることができない物を近くで見たりして学びを広げてきました。

午後は霞城セントラルにある産業科学館で、いろいろな体験を通して科学の不思議さやおもしろさを存分に味わいました。

夏の終わりに楽しい思い出ができました。